

## 今後の保育園整備について

標記の件について、第2期座間市子ども・子育て支援事業計画では、①公立保育園の民営化、②一時預かり事業（幼稚園Ⅱ型）、③企業主導型保育施設により、主に既存の施設を活用して整備を進めることとしています。しかしながら、これらについては、次の理由により、計画どおり整備を進めることが困難な状況となってきました。

公立保育園の民営化	サウンディング型市場調査を実施した結果、定員は90名程度（計画上の定員は120名）を希望する事業者が多かった。
一時預かり事業 （幼稚園Ⅱ型）	ヒアリングを実施したところ、空き教室がない（ゆとりをもって教室を使用している）ので実施が困難であるとの回答が多かった。
企業主導型保育事業	新規募集件数が縮小傾向にある。 令和2年度 → 20,000人分 令和3年度 → 4,000人分

このような状況であるため、今後、保育園整備の方針について、一部変更（太字部分）することを検討しています。

令和5年度	緑ヶ丘保育園の民営化（令和3年11月に事業者決定予定）
	<b>保育ルームフェリーチェ座間Ⅰ園（認可外保育施設）の小規模保育施設への移行</b>
令和6年度	ちぐさ保育園の民営化（事業者未定）
	<b>認可保育所を新設（事業者未定）</b>
	<b>小規模保育所を新設（事業者未定）</b>